

内部被ばく

大気中の放射性物質の吸入

外部被ばく

大気中および地表の放射性物質からのガンマ線



窓を開め、空調を止めて外気の取込みを防止する。

屋内に退避すれば、ガンマ線の外部被ばくと放射性物質の吸入による内部被ばくを低減できる。

原子力発電所の事故が起こった場合には、医療機関や介護福祉施設等の避難に支援が必要な機関では、地域防災計画等によって定められている屋内退避や避難をする。原子力災害時には、空間線量率が毎時 500 マイクロシーベルトを超えた地域は、直ちに避難する。また、毎時 20 マイクロシーベルトを超えた地域は、1 週間を目処に避難する。

外出や避難時には、放射性物質による汚染の可能性があるので、帽子、マスク、長袖の上着、手袋を着用する。外出から戻ってきた時は、靴を履き替える。

汚染した場合は、帽子、マスク、上着、手袋を脱ぐ。ストレッチャー等での搬送時には、使い捨てのシーツを上からかけておくと、毛布や衣服の汚染防止になる。

屋内退避時チェック項目

- ☐ 全ての窓を閉める
- ☐ 空調を止める（外気の取込みを防止）
- ☐ 医療資機材の確認
- ☐ 食料・水の備蓄量の確認
- ☐ 食料、水、資機材などの補充の連絡

避難時チェック項目

- ☐ 避難先への連絡

避難先：

TEL：

- ☐ 家族等への連絡
- ☐ 搬送手段の確認
- ☐ 搬送開始時刻の確認
- ☐ 避難の順番の確認
- ☐ 同行者の選定



所属：

TEL：

あなたの連絡先

連絡先：

病院災害対策本部

連絡先：

県災害対策本部

原子力災害における病院等の
避難、屋内退避
チェックリスト

連絡先③

連絡先②

連絡先①

あなたが連絡するところ